

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日13:00～14:00

会長 菊地 富士子

例会場 ANAクラウンプラザ
グランコートホテル名古屋

幹事 荒山 久美

承認 2013年6月18日

公共イメージ
向上 藤谷 猛



2024～2025年度名古屋アイリスRCのテーマ

不易流行

～ DEIを取り入れて新しい風を私たちのクラブへ～

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第514回 例会

2025年3月12日 13:00～

- 司会 荒山久美 例会・出席・親睦委員長
- 斉唱 我らの生業
- 出席報告 出席者数 10名 / 20名
出席率 50.0%
- ゲスト 米山奨学生 ラウト・ニラム君
- ビジター 名古屋栄RC 井上司様

ニコボックス

- 菊地富士子 会長
ラウト君、これからもご活躍ください！
- 岩崎幸弘 会長エレクト
3月3日で67歳、敬老パスも3回目の更新をしました。益々元気！これからも頑張ります。
- 青木洋子 副会長
ラウト君、頑張ってね。
- 荒山久美 幹事
ラウト君の2年間の例会出席お疲れさまでした。4月から社会人として頑張ってください。

3月度 誕生日お祝い

3日 岩崎幸弘さん 17日 竹内祐子さん

会長挨拶



皆さんこんにちはは本日は514回例会です。本日はラウト・ニラム君が参加です。米山奨学生として当クラブの最終例会です。皆さん十分に交流してください。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本にいる外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する奨学団体です。民間団体として日本国内では民間最大で採用数は年間約900人その出身国は世界133の国です。目的は将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することとしています。また奨学金による経済的な支援だけでなく、世話クラブとカウンセラー制度があり世話クラブの例会に月に一回以上出席しまた心の通った支援があります。

ラウト君は大変明るくコミュニケーション能力の高いか

たです。彼は病と向き合いながらさぞもどかしいことと思いますが乗り越えてほしいです。私たちはラウト君との出会いにより多くの様々なことを学ばせていただきました。

ラウト君はいずれの日かアイリスRCの会員となりネパールとの懸け橋になっているかもしれません。あるいは日本で活躍しながらまたはネパールに戻られてからネパールと日本の懸け橋になり社会貢献してくださることを願い会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

【幹事報告】

荒山久美 幹事

*今後の例会予定 3/21(金)親睦夜間例会を「シェ・コーベ」で18:30から開催します。4/2(水)、4/9(水)は通常例会です。4/25(金)は3RC合同例会で東急ホテルにて12:30-13:30開催です。

*3/8(土)に地区主催の米山奨学期間修了式にラウト君と参加しました。今年度は33名の奨学生が卒業ということです。

諸学金贈呈



菊地富士子会長より米山奨学生のラウト・ニラム君に最後の奨学金が贈呈されました。ラウト君、本当にお疲れさまでした。4月からは、これまで学んだことを活かして社会人として頑張ってください。

委員会報告

【第2回社会奉仕委員長会議報告】

加藤正弘 社会奉仕委員会委員長



2月10日(火)14時半から16時半まで2024-25年度2760地区第2回社会奉仕委員長会議に出席してまいりました。場所は名駅にあるウイング愛知1303号室にて、東名古屋分区分12RCのメンバーとガバナー補佐のみにて行われ、いつもの内容とは違い各分区分ごとの集まりで、オープンセレモニーもなく、

各部屋に分かれ口の字型のテーブル形式で 30 人程のメンバーで始まりました。ファシリレーターを地区社会奉仕委員会の平井善明氏が仕切り役として、各クラブの委員長へ質問形式にて行われていきました。

内容は、いままで一番印象に残る社会奉仕事業の報告から始まり、各クラブの社会奉仕事業が順番に述べられ、当クラブは、昨年行いました「わくわくクリスマスパーティ」の内容を報告しました。東海テレビのニュースで放映された事も報告し平井さんからそれは大変良かったとお褒めを頂きました。

次に継続事業として毎年行っているクラブはと聞かれ、半数以上のクラブが手を上げられ、当クラブも名大病院小児科病棟へ毎年 30 万円近くのイベントや寄付をしていると報告をしました。その後、色々な事を聞かれましたが、最後に各クラブと合同で社会奉仕事業を行うことは出来ないかと勧められ、各クラブ横の席のクラブの方と一緒にデスクッションを 10 分ほど行い発表しました。私の横にいたクラブは、名古屋東 RC の方で一緒に出来ないかと模索しましたが、メンバーの人数の問題もあり、東 RC の社会奉仕事業は警察署や消防署への表彰や寄付などであまりイベントなどして汗をかくことはされていないようでしたので、相乗りは難しい話になりました。反対に当クラブの継続事業に参加されますかとの問いには、金額の問題やら汗をかく事をされていなく、こちらもなかなか難しい事となりました。報告では、同じ金額でなくても良いという事を平井ファシリレーターが言われましたが、色々難しい問題があると思います。そこへ吉川ガバナーが現れご挨拶を頂きましたが、8 分区の教室を回りご挨拶を 8 回行うという大変な事をされておりました。最後に中山ガバナー補佐より好評を頂き閉会しました。

感想ですが、今までにない会議形式で他クラブの社会奉仕事業の内容が聞けて良かったですが、当クラブより素晴らしい事業をされている所は無いような気がして気分良く帰る事が出来ました。懇親会もなかったので、大変中身の濃い会議でしたが、新たに何か起こす行動には各クラブの思惑もあり、なかなか繋ぐ事が出来ませんでした。

卓 話

卓話者: 米山奨学生 ラウト・ニラム君

演 題: 私の人生で経験したこと



皆さん、こんにちは。
私はラウト・ニラムと申します。現在、中京大学の 4 年生です。今日は、私の人生で経験したことについてお話ししたいと思います。拙い日本語ですが、最後まで聞いていただくと嬉しいです。

私は 8 年前、日本に来ました。そのとき、新しい環境で生活し、日本の文化や言葉を学ぶことにワクワクしていました。ですが、日本での生活が始まってから、たくさんの試練に見舞われましたが今回はその中でも 2 つの試練、感謝そして、学んだことについてお話ししたいと思います。

1 つ目に話したいことは、私の日本語学校時代の話です。私が日本に来た初めの頃、私は沖縄の日本語学校で勉強することにしました。たくさんの日本語を学び、これから実りある人生を日本で過ごしていきたいと思っていたのにも関わらず、生活費を稼ぐのにバイト三昧になってしまいました。毎日毎日、朝から夜遅くまで働いてへとへとになって、勉強もして、睡眠もろくに取れずに皿洗いの途中に立ちながら寝るなど大変な思いをして過ごしてきたことを今でも鮮明に覚えております。毎日死にそうな思いをしながらですが、卒業はできました。

今は中京大学に生活費の心配なく通えていて、自分のやりたい勉強や仕事ができているので、今私を支援していただいているロータリークラブの皆様には大変感謝しております。

2 つ目に話したいことは、私の病気についてです。2024 年 7 月、私は「脳動脈瘤」という病気を発症しました。突然のことに大きな不安を感じ、「これからどうなるのか」と恐怖に襲われました。しかし、幸運にも適切な治療を受けることができ、無事に回復しました。病気が治ったことで、一度ネパールに帰国することを決めました。そして、そこで日本語学校を設立するという夢を実現しました。私は昔から、自分の力で何かを成し遂げることが好きでした。しかし、学校を作ることは簡単ではなく、たくさんの困難がありました。それでも努力を続け、ついに開校することができました。この経験は私にとって大きな自信となりました。

2024 年 10 月、日本へ戻り病院で検査を受けたところ、新たな病気が見つかりました。そして、同年 11 月に 2 度目の手術を受けました。手術は成功しましたが、私は言葉を失うという大きな障害に直面しました。手術後、日本語だけでなく、英語や母国語のネパール語も話せなくなりました。言葉が出てこないという現実、まるで自分のアイデンティティを失ったような感覚でした。「これからどうなるのか」と不安でいっぱいでした。しかし、私は諦めませんでした。「話すことが難しいなら、書くことから始めよう」と考え、日記を書き始めました。また、簡単な会話からリハビリを続け、少しずつ言葉を取り戻していきました。その結果、日本語やネパール語、英語も少しずつ話せるようになってきました。まだ完璧ではありませんが、以前のように自由に話せる日を目指し、今も努力を続けています。

日本におけるさまざまな経験を通して、私は次の 3 つの大切なことを学びました。

1. 健康の大切さ
2. どんな困難も乗り越えられること
3. 諦めなければ道は開けること

以上の通りに私の人生は決して順調ではありませんでした。しかし、どんなに大きな(おおきな)壁があっても絶対に諦めませんでした。これからも、私は夢に向かって進み続けます。どんな困難が待っていても、自分を信じて、一歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。

最後になりますが、ロータリークラブの皆様のおかげでここまでこれたと思っております。この旨を忘れずこれからも邁進していきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

第 515 回 例会

2025 年 3 月 21 日 (木) 18:00~

シェ・コーベ

3月21日(木) シェ・コーベにて親睦夜間例会が開催されました。参加人数は9名でしたが、楽しい時間を過ごすことができました。初めての参加された鳥居会員、長松会員も終始笑みがこぼれてオーラがたくさん出ていたようです。伊藤喜子会員はソムリエの資格をお持ちなので、お店の方とのやりとりは本当に勉強になりました。楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまいます。次回も多数の参加をお待ちしております。

